



Automotive
Telecommunication
Technology Tokyo

第1回 国際自動車通信技術展

1st Automotive Telecommunication Technology Tokyo

次世代のモータリゼーションにおける新しいサービスとビジネスの創造を目指して

出展のご案内

第41回東京モーターショー2009との同時期開催!!

(10/21・22 プレスデー 10/23特別招待日)

会期 2009年10月20日(火)～10月22日(木) **会場** 幕張メッセ

主催:国際自動車通信技術展実行委員会

<http://www.at tt.jp/>

はじめに

環境や安全といった社会的な要請に応え、クルマを利用するユーザーの利便や快適性の向上のために、自動車関連技術は日々進化しています。このような状況の中、ますます電子化が進む自動車にとって、大きく進展する分野として注目を集めているのが「通信」です。自動車業界のみならず、都市交通という視点からもインフラの整備の高度化という観点からも「自動車の通信」に関わる情報交流や技術交流の輪を広げることが、環境対策や安全対策などの観点でより進化を促進されていくものと考え、国際自動車通信技術展を企画させて頂きました。趣旨ご理解の上、皆様のご支援・ご協力を賜りたく、ご高配の程よろしくお願い申し上げます。

国際自動車通信技術展実行委員会

背景



車内通信

自動車の電子制御機能の進化に伴い、それぞれのECU間におけるデータ通信も複雑化し、ネットワークも高度化しています。ナビゲーションなどの情報系システムから制御系システムなども統合制御されるなど車内通信もますます進化していくと思われます。また、環境対策として本年から新型車に搭載が義務化されたOBD-IIについて安全面からの利用も検討されています。これらの進展にむけ、従来の自動車業界のみならず、通信業界やエレクトロニクス業界などをはじめとする幅広い分野の情報交流や技術交流の場が求められています。

路車間/車車間/歩車間通信

出会い頭衝突防止や信号見落とし防止支援などを光ビーコンをはじめとする無線通信メディアにより一般道での路車間通信を行うDSSSや、合流支援情報提供、前方障害物情報提供を電波(DSRC)により高速道路等での路車間通信を行うSmartway、追突防止、緊急車両情報提供を電波(5.8GHz帯、700MHz帯)により車車間通信を行うASVなどといった通信を利用したシステムの実現と普及が期待されています。また、DSRCを携帯電話に組み込むことで安全確保のための歩車間通信をめざすなど新しい動きなども出ております。これらの進展に向け、自動車業界や通信業界の現状での取り組みのみならず「世界一安全な道路交通社会」の実現に向けて産官学一体の情報交流や技術交流の場が必要になって参ります。

モバイル通信の進化

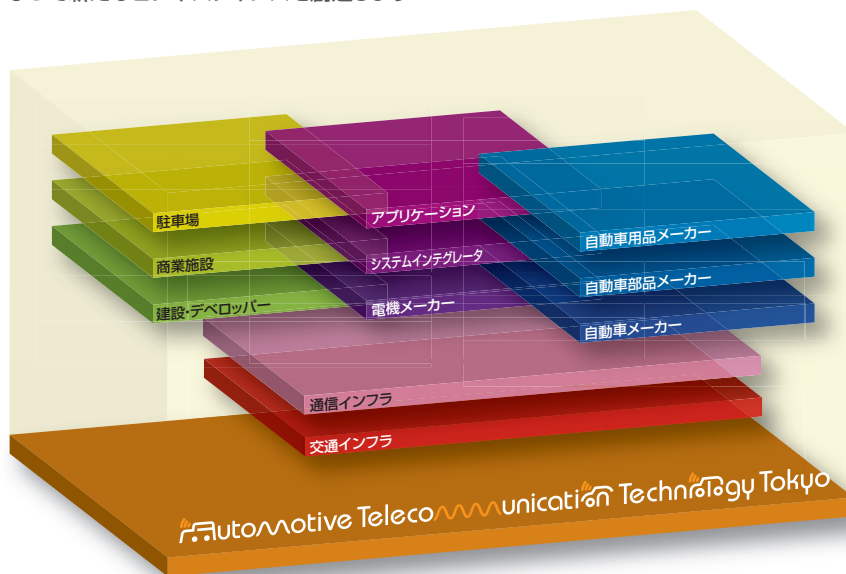
2009年から2010年にかけて、3.9G(3.9世代携帯電話)やモバイルWIMAX、ウィルコムコア(次世代PHS)などのサービス開始が予定されています。これら新時代の通信インフラは、高速・大容量化や伝送遅延の短縮が進み、自動車における「制御」や「情報」という2軸で新しいサービスが始まる可能性が高まって参ります。また、その先にある周波数再編後はモバイルマルチメディア放送が本格化し、自動車向けの通信・放送インフラが充実します。

これらの動向を鑑みると、「自動車における通信・放送インフラの活用及びインターネットサービスとの連携」というテーマの技術交流や情報交流がますます重要になって参ります。



本展の特徴

自動車・通信に関わる様々なレイヤーの事業者が一堂に集います。
クルマとICTの連携・融合によって新たなビジネスチャンスを創造します!!



企画骨子



国際自動車通信技術展 開催のポジション

日本国内はもとより海外まで含めた自動車業界や通信業界をはじめエレクトロニクス業界や行政機関/研究機関など幅広い方々を対象として、「自動車通信」にフォーカスした情報交流と技術交流の場を設け、新しいビジネスモデルの創出や関連する業界の活性化をはかるとともに、より安全なクルマ社会の実現に寄与します。

- 国際展としてグローバルな情報交流を展開
- 「自動車通信」という幅広い業界に関わるテーマで、関連する企業/団体などのビジネス交流を促進
- 環境負荷の低減や安全性の進化をはじめ快適性の向上に寄与する自動車通信の進化促進

開催概要

名称：第1回 国際自動車通信技術展 1st Automotive Telecommunication Technology Tokyo
 副題：次世代のモータリゼーションにおける新しいサービスとビジネスの創造を目指して
 会期：2009年10月20日(火)～10月22日(木)
 会場：幕張メッセ

主催：国際自動車通信技術展実行委員会
 委員長 伊藤 知 (日刊自動車新聞社 代表取締役社長)
 ・日刊自動車新聞社
 ・アイティメディア(株)「ITmedia +D Mobile」
 ・(株)IRIコマース&テクノロジー「レスポンス」
 ・(株)オートマート・ネットワーク
 ・(株)ジェムコ・コーオペレーションズ



国際自動車通信技術展 実行委員長
 日刊自動車新聞社 代表取締役社長
 伊藤 知 (Satoru Ito)
 日刊自動車新聞社は各自動車メーカーを主要株主を持つ自動車業界唯一の日刊専門紙。2009年2月に創立80周年を迎えました。

企画：国際自動車通信技術展企画委員会
 委員長 神尾 寿 (通信・ITSジャーナリスト)
 委員 園部 修 (ITmedia +D Mobile 編集長)
 委員 三浦 和也 (レスポンス 編集長)
 委員 高橋 賢治 (日刊自動車新聞社 広告局次長)
 委員 貴堂 郁 (オートマートネットワーク 編集長)



国際自動車通信技術展 企画委員長
 通信・ITSジャーナリスト
 神尾 寿 (Hisashi Kamio)
 モバイル通信とITSを中心として、技術やサービス、ビジネス、ユーザー文化の取材・執筆を専門とするジャーナリスト。2008年から、日本カー・オブ・ザ・イヤー(COTY)選考委員、モバイル・プロジェクト・アワード選考委員をつとめています。

後援：関連省庁、各国大使館(など申請予定)

協賛：(社)日本自動車工業会、(社)日本自動車部品工業会、ITS Japan、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、モバイル・コンテンツ・フォーラム、他関連団体(など申請予定)

事務局：国際自動車通信技術展運営事務局
 東京都中央区銀座6-13-16 (株)ジェムコ・コーオペレーションズ内
 Phone:03-5565-1642 Fax:03-5565-6909

併催企画など

■ 国際自動車通信技術展 カンファレンス

「自動車の通信」に関わる国内・海外の最先端の情報を一堂に入手できる質の高いカンファレンスを展開します。

<基調講演>

自動車メーカー、通信キャリアが様々なテーマの切り口で「自動車の通信」の今後を占う最先端の情報について講演します。

<カンファレンス>

自動車通信に関する幅広いテーマから今もっとも注目されるテーマについて、その分野における最先端のスピーカーにより最新の情報を発信します。



■ ATTTアワード(自動車通信技術賞)の創設

国際自動車通信技術展の開催に併せて、ATTTアワード(自動車通信技術賞)を創設し、下記のような部門で発売・市販化された商品やサービスなどについて表彰したいと考えております。

ATTTアワード(自動車通信技術賞)の部門案

- 環境
- 先端安全技術
- 快適
- イノベーション
- ベストバリュー
- ビジネスモデル
- コラボレーション
- パブリックモビリティ など

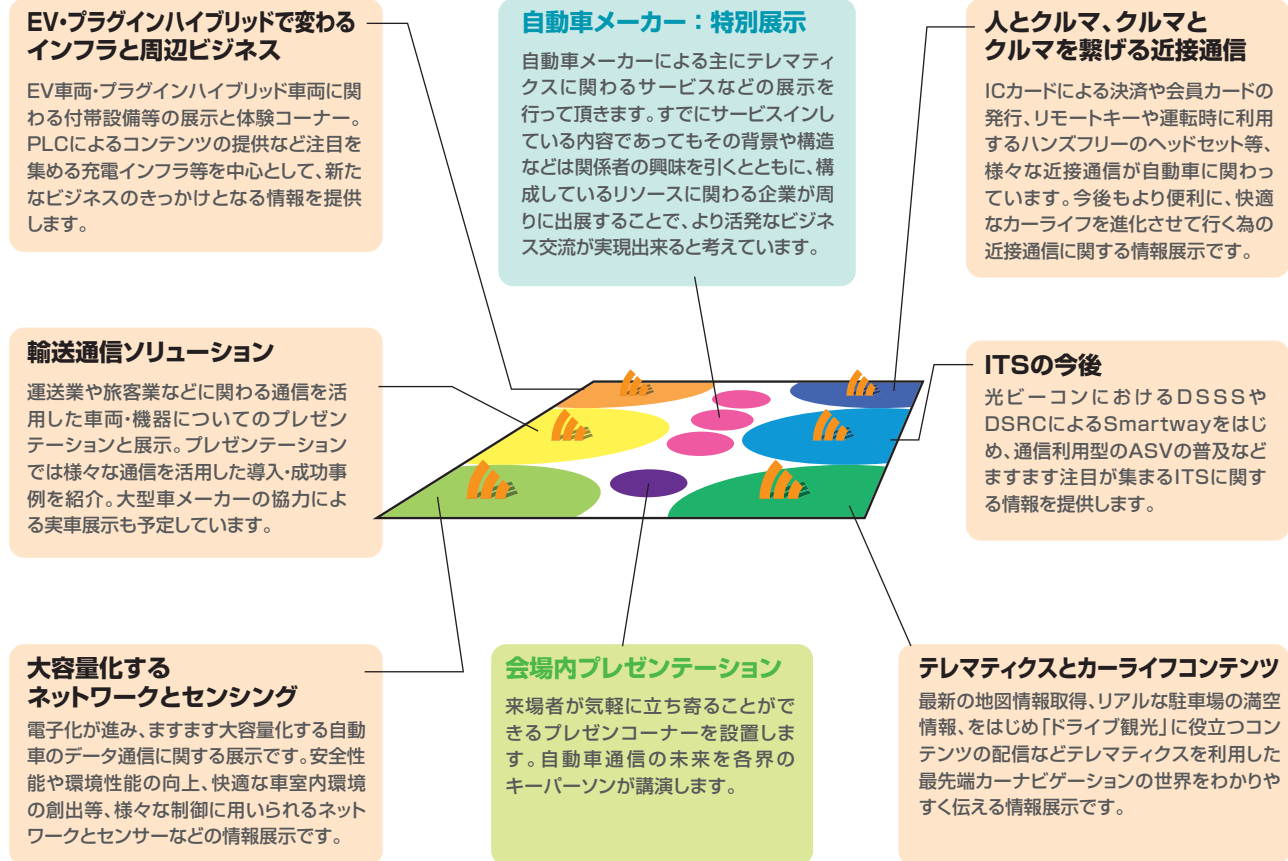


展示構成

自動車と通信という幅広いテーマで、より効果的なビジネス交流を実現するために特徴的なビジネステーマを抽出し、それぞれにフォーカスしたテーマコーナーを作るなど、幅広いビジネスのきっかけを提示出来るような展示構成を考えています。

テーマコーナー

今回は下記の6つのテーマでテーマコーナーを開設し、これらにテーマに関わる技術やサービス、製品を持つ企業にはそれぞれのテーマコーナー周辺に出展ブースを構えて頂きたいと考えています。



出展ゾーン

上記のテーマコーナーでフォーカスした内容のみならず幅広く自動車の通信に関わるリソースをお持ちの企業には出展して頂きたいと考えています。通常の出展ゾーンには上記のテーマに偏らない、もしくは複数のテーマに関わるような出展者に展示して頂きたいと考えています。

出展のメリット

自動車と通信というテーマにフォーカスした日本初のコンベンションに出展することで、貴社に大きなビジネスメリットを提供します。

■ 潜在的なターゲット層の顕在化

自動車通信というテーマに明確な目的意識を持った来場者が集まります。テーマコーナーなどトレンドに合致した内容の企画を展開し、潜在的なビジネスターゲットを顕在化させることができます。

■ アライアンス ビジネスパートナーの発掘

自動車における通信サービスは、様々なレイヤーの企業などがそれぞれのリソースを持ち寄りて実現します。また、アジア地域など海外からの来場者も見込まれますので、効率的に海外のビジネスパートナーとの接点を得ることができます。結果として自社のリソースに付加価値を見いだす幅広い業種のビジネスパートナーを効率的に発見し、アライアンスを構築していくきっかけが作れます。

■ 業界でのポジショニング ブランド高揚

強力なメディアによって構成された実行委員会が推進しますので前後のパブリシティ効果も非常に高く、効率的なブランドアピールが実現します。また、我が国初の自動車通信に関わるコンベンションへの出展は、自動車と通信という非常に大きな業界へ効果的なブランドアピールとなります。

■ 効率的なマーケティングリサーチ

今後、新しい戦略として展開していきたいと考えているサービスや商品のマーケティングリサーチが効率的に、効果的に実施出来ます。通常ではコストも時間もかかる仮想ターゲットへのアプローチも、展示ブースに来場した方々を対象にすることによってスムーズに展開出来ます。

来場者プロモーション

実行委員会を構成する強力なメディアによる展開

日刊自動車新聞

販売部数：143,000部
日刊自動車新聞社
1929年に創刊した世界最大級の自動車専門日刊紙です。自動車を取り巻く様々な環境の変化、技術革新などクルマや産業が大きく変化する日々の動きをいち早く、正確に捉え毎朝発信します。



Mobi 21

日刊自動車新聞社
新時代の自動車総合オピニオン誌。これからの自動車業界を突き動かすキーワード、環境・安全・ITS・ITなど幅広いテーマを取り上げ、行政、国内・海外動向を記者が鋭く分析・指針を示します。



+D Mobile

ページビュー(月間)：10,860,000
ユニークユーザー(月間)：1,690,000
<http://plusd.itmedia.co.jp/mobile/>
携帯電話を中心としたモバイル機器のリリース情報をはじめ、詳細なレビューやコラム、テクノロジーの解説記事も掲載し一般ユーザーから専門技術者までカバーします。



※2009年3月実績

レスポンス

ページビュー(月間)：38,000,000
ユニークユーザー(月間)：5,000,000
<http://response.jp/>
新車情報はもちろん、企業動向、掲載情報等自動車業界を多角的に捉えるニュース速報や、カーライフ、カーテレマティクス、ITSやカーナビ等のニュースの速報・製品評価など、情報・サービスを提供する総合自動車ニュースサイトです。



オートマートネットワーク

発行部数：13,000部
オートマート・ネットワーク
オートアフターマーケット全般を対象とした商品、サービス、ビジネスモデルなどについて、環境変化に即応した情報を提供します。



AM NETWORK Asia Version

発行部数：20,000部
オートマート・ネットワーク
巨大市場「アジアマーケット」に、カー用品の魅力溢れる商品・流通・企業情報を提供するアジア発のカー用品専門誌。(中国語繁体字・簡体字版、英語版)



招待券の配布活動/ダイレクトメール

バックアップ頂たく協賛団体などを通じて招待券の配布活動を展開します。また、国内のみならず海外の自動車メーカーや自動車部品・用品メーカーなどの来場対象業種の方々にもダイレクトメールを展開します。



併催企画などによる集客活動

カンファレンス、テクニカルツアー/体験ゾーン、ATTTアワード(自動車通信技術賞)などの他、ナビゲーショングランプリなどを展開し、来場対象者の興味を喚起するとともに、効果的なパブリッシュ展開を行います。

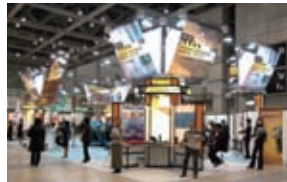


海外向けプロモーション

英語版Webサイトでの告知展開をはじめ海外の関連媒体へのパブリシティを展開します。また、国内で開催される関連ある国際展内でも告知展開します。

国際オートアフターマーケットEXPO

出展者数：250社・団体
来場者数：約35,000人
主催：国際オートアフターマーケットEXPO実行委員会
日本唯一の国際的なオートアフターマーケット専門トレードショー。アジア地域を中心とした海外からの数多くの出展者と来場者を迎え、補修部品・用品・整備補修等、自動車に関する幅広い情報交流や商談が活発に行われます。



発展成長著しいアジアとの接点を「国際オートアフターマーケットEXPO」や台北に支局、上海に駐在事務所を置く「AM NETWORK」等で確保し、多くの来場者を誘致します。

上海モーターショー(上海)
会期：2009年4月22日～28日



AMPA(台北)
会期：2009年
4月14日～17日

“第41回東京モーターショー2009”との同時期開催

「第41回 東京モーターショー2009」と同時期開催することにより、プレスや自動車業界関係者等の効率の良い来場促進を行い、注目を高めます。

国内はもちろん、アジア地域を中心とした海外からも集客!
来場目標 40,000名!

募集要項

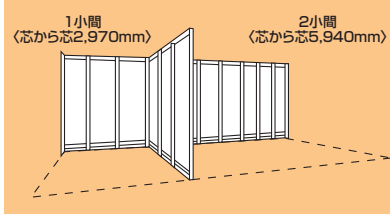
屋内展示スペース

屋内展示スペース 1小間(3m×3m=9m²)・・・383,250円(消費税込・装飾費別)

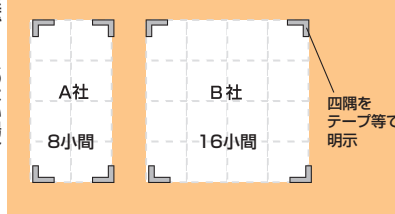
早期予約割引

2009年2月28日(土)までに
予約申込の場合
1小間当たり10,500円の割引

隣接
ブース
のある
場合



隣接
ブース
のない
場合



●装飾について

- 出展スペースの装飾に関しましては、別に定める出展要項・装飾規程(8月に開催予定の出展者説明会にて配布)に従って行って頂きます。
- 事務局にて用意する廉価なディスプレイパッケージプラン(別途有料)の利用も可能です。
- 事務局にてオリジナルの装飾プランの提案も可能です。

●10小間以上出展の場合

- 10小間以上の出展者にはプレゼンテーションプログラムの1枠利用の権利が付与されます。

出展者オプションサービス 【プレゼンテーションプログラム】

各出展者が自社のプレゼンテーションを行って頂くセミナースペースを提供します。テーマコーナーなどターゲット層の関心を集める併催企画の展開に加えて、貴社のブースでの展示・商談に連動したプレゼンテーションなどを実施することによって従来にはない効果的で、効率的なプロモーションが実現出来ます。規模に応じたセミナースペースをご提案します。

今までにない効果的で
効率的なプロモーションを実現!!



プレゼンテーションプログラム
1枠(60分)・・・84,000円～(消費税込)
(48人～規模に合わせてご提案申し上げます)

公式Webサイトや案内状にて告知し、集客を支援します!

申込みから出展までのスケジュール案

出展案内
資料入手

出展案内資料の内容をご確認頂き、ご不明な点や質問などございましたらお気軽に事務局宛にお問い合わせください。

出展
小間予約
申込書
提出

「出展小間予約申込書」に必要事項をご記入の上、事務局宛にご提出ください。この予約申込書によるキャンセル料などは発生致しません。小間位置や形状に関する希望事項なども併せてご記入ください。出展小間の位置に関しましては原則として来場者の便宜を考慮した全体構成ならびに小間予約申込の先着順にて事務局で決定致します。共同出展者をご記入頂いた場合、印刷物などにおいて1出展者としてカウント/掲載させて頂きます。

※共同出展者:出展の際に共同で出資や販促活動を行う企業・団体

出展
契約書
提出

予約から正式な申込段階に移行した段階で「出展契約書」をご提出頂きます。出展契約書をご提出頂いた後に出展料金の請求書を発行いたしますので、指定日(原則として出展契約書提出の1ヶ月後もしくは会期前日)までに「出展料金の全額」を指定口座にお振り込み頂きます。

出展契約書の提出後、やむなく出展の変更・取り消しをする場合は、理由を明記した文書を事務局宛にご提出ください。出展料金の支払い前後にかかわらず下記の要領にてキャンセル料を申し受けます。
2009年8月31日(月)まで・・・出展料金の30%
2009年9月1日(火)以降・・・出展料金の全額

8月中旬
出展者説明会
(予定)

搬入・施工
2009年
10月19日

開催日
2009年
10月20～
22日

※閉会後即日 撤去・搬出



第1回 国際自動車通信技術展

1st Automotive Telecommunication Technology Tokyo

<http://www.attt.jp/>

出展申込み / 問い合わせ先 **国際自動車通信技術展運営事務局**

〒104-0061 東京都中央区銀座6-13-16 (株)ジェムコ・コーオペレーションズ 内

TEL.03-5565-1642 (電話受付時間 / 月~金 10:00~17:00) **FAX.03-5565-6909**

E-mail : information@attt.jp URL : <http://www.attt.jp/>



会場紹介

幕張メッセ

〒261-0023 千葉県美浜区中瀬2-1

TEL. 043-296-0001

URL <http://www.m-messe.co.jp/>

